



消防千葉

2019 No.566 平成31年1月号

平成 31 年 1 月 1 日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043 (263) 9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



アイ・リンクタウン展望施設からの景色（市川市）東葛飾支部

年頭のごあいさつ



明けまして
おめでとうございます。



明けましておめでとうございます。

県内 34,000 名の消防職員、消防団員並びに関係者の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日夜、火災や地震・風水害などの各種災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするため、献身的に職務に精励されていますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

昨年を振り返りますと、平成 30 年 7 月豪雨や北海道胆振東部地震、度重なる台風の襲来など、各地に甚大な被害が発生いたしました。

さらに、昨夏は、災害級と言われた猛暑による熱中症での搬送人員や死亡者数が、大変多い年でもありました。

そのような中、消防に対する県民の期待はますます高まっており、消防防災体制の更なる強化が求められています。

昨年 8 月には、第 39 回九都県市合同防災訓練千葉県会場訓練を勝浦市で開催し、自衛隊、警察、消防機関、医療関係団体、ボランティア団体、また地域住民からなる自主防災組織など 112 機関、約 5,000 人の方々に御参加いただきました。

この訓練では、被災建物等からの被災者の救出、応急救護所の設置や傷病者のトリアージ活動、他都県市等からの広域応援やボランティアの応援受入体制の確認、自主防災組織を中心とした避難所運営や要配慮者の支援活動などの実践的な訓練を実施し、防災関係機関の連携強化や住民の防災意識の高揚を図ったところです。

また、県では、複雑・多様化する災害に的確に対応するため、本年 4 月に市原市内において供用を開始する「消防学校・防災研修センター」等を活用し、消防職員や消防団員に対し、より高度で実践的な教育訓練を実施するとともに、地域防災力の充実強化を図ってまいります。

「安全で豊かなくらしの実現」は県民すべての願いです。

今後とも東日本大震災をはじめとする様々な災害の教訓を生かし、消防関係の皆様とともに地域防災力の更なる向上を図り、災害に強い千葉県づくりに取り組んでまいります。

結びに、本県消防のますますの御発展と、皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

平成 31 年元旦

千葉県知事 森田 健作

年頭のごあいさつ



平成31年の輝かしい新春を迎え、
謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。



消防職・団員並びに消防関係の皆様には、常日頃、地域の安心と安全を守るため、地域防災の最前線に立ち、日夜献身的な活動を続けられておりますことに対し、深く敬意を表し、心から感謝申し上げます。

また、平素から当協会の運営や活動に対し、格別のご支援・ご理解を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

さて、自治体消防は、関係各位のご努力により、各時代の要請に応えつつ、着実な発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として住民から多大な信頼と期待が寄せられております。

東日本大震災以来、首都直下型地震や南海トラフ地震等の発生が危惧されるなか、自然災害では、昨年「平成30年7月豪雨」や「北海道胆振東部地震」等の大規模災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。

このような中、千葉県消防協会としましても、東日本大震災後の我が国の消防防災体制のあり方を示す「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、快適で安全安心な郷土をつくるために、各地の消防団が活性化し、常備消防と協力して、消防活動がより安全で迅速なものとなりますよう、さらに努力してまいります。

昨年は、市川市消防団が10月に富山市において開催された全国消防操法・富山大会に出場しました。残念ながら入賞は逃しましたが、千葉県代表として力強い操法演技を披露し、その名を全国に知らしめました。

また、女性消防団員の確保の促進につきましては、平成26年度に浦安市において開催された全国女性消防団員活性化ちば大会を契機として、毎年開催している女性消防団員活性化シンポジウムを11月に開催したところ、多くの方々の参加をいただき大いに盛り上がったところです。

新しい年を迎え、今年も、本県消防の発展のため、防火防災思想の普及啓発、消防団員の確保策の検討、消防団の活性化、消防職・団員の福利厚生等の促進等に全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご指導・ご鞭撻、さらに、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が災害のない平穏な一年でありますことを、また、本県消防の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸を、心から祈念申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

平成31年元旦

公益財団法人千葉県消防協会会長
千葉県少年婦人防火委員会会長

石橋 毅

明けましておめでとうござ



香 取 支 部

- 香取広域市町村圏事務組合
- 香取市消防団長 齋藤浩勝
- 神崎町消防団長 遠藤栄治
- 香取広域市町村圏事務組合
- 多古町消防団長 熊澤信宏
- 香取広域市町村圏事務組合
- 東庄町消防団長 岩瀬 隆
- 海 匝 支 部
- 銚子市消防団長 芝岸 弘
- 匝瑳市消防団長 秋山忠史
- 旭市消防団長 鈴木 格
- 山 武 支 部
- 東金市消防団長 植松一夫
- 山武市消防団長 土屋博文
- 大網白里市消防団長 北田宏彦
- 九十九里町消防団長 古川克俊
- 芝山町消防団長 小川総夫
- 横芝光町消防団長 須合一嘉

長 生 支 部

- 長生郡市広域市町村圏
- 組合消防団長 小高一夫
- 夷 隅 支 部
- 勝浦市消防団長 渡邊浩臣
- いすみ市消防団長 莊司正博
- 大多喜町消防団長 齋藤信一
- 御宿町消防団長 井上和美
- 安 房 支 部
- 館山市消防団長 吉野隆志
- 鴨川市消防団長 佐藤則泰
- 南房総市消防団長 君塚弘和
- 鋸南町消防団長 大胡昌広
- 君 津 支 部
- 木更津市消防団長 地曳貞夫
- 君津市消防団長 小原幸春
- 富津市消防団長 石井輝之
- 袖ヶ浦市消防団長 佐久間貢

千 葉 県

- 防災危機管理部長 石川 徹
- 消防課長 添谷 進
- 消防学校長 淡路武夫

千 葉 県 消 防 協 会 準 会 員

- 一般社団法人千葉県消防設備協会
- 東京電力フュエル&パワー株式会社
- 千葉火力発電所
- 鬼怒川ゴム工業株式会社
- 日本曹達株式会社 千葉工場
- 株式会社 MORESCO 千葉工場
- 丸善石油化学株式会社 千葉工場
- AGC株式会社 千葉工場
- コスモ石油株式会社千葉製油所
- 東京電力フュエル&パワー株式会社
- 姉崎火力発電所
- 住友化学株式会社 千葉工場
- JXTGエネルギー株式会社
- 三井化学株式会社 市原工場
- 日立化成株式会社 五井事業所
- デンカ株式会社 千葉工場
- 日本中央競馬会 中山競馬場
- 流山キッコーマン株式会社
- 成田国際空港株式会社
- 空港運用部門保安警備部
- 成田山新勝寺
- 日華化学株式会社 関東工場
- 三井化学株式会社 茂原分工場
- 双葉電子工業株式会社
- 広栄化学工業株式会社 千葉工場

富士石油株式会社袖ヶ浦製油所

東京電力フュエル&パワー株式会社

袖ヶ浦火力発電所

NAAセーファイサポート株式会社

(順不同)



いっます 平成31年 元旦



公益財団法人千葉消防協会

千葉県消防協会評議員

公益財団法人千葉消防協会 顧問会役員等

県下市町村消防団長

最高名誉顧問 倉田寛之
 特別顧問 石井利孝
 会長 石橋 毅
 副会長(消防長会) 石塚正徳
 同(東葛飾支部長) 小田山博史
 同(海匝支部長) 鈴木 格
 同(印旛支部長) 齊藤弘一
 同(山武支部長) 小川総夫
 理事 河上 茂
 同(千葉支部長) 大野藤夫
 同(香取支部長) 齋藤浩勝
 同(長生支部長) 小高一夫
 同(夷隅支部長) 渡邊浩臣
 同(安房支部長) 君塚弘和
 同(君津支部長) 佐久間貢
 同(消防長会) 杉田昭一
 同(消防長会) 小磯勇二
 同(県消防課長) 添谷 進
 同(県消防学校長) 淡路武夫
 専務理事 玉井日出夫
 常務理事 安西 隆
 監 事(東葛飾支部) 川上英明
 同(印旛支部) 川上賢二
 同(消防長会) 宇田川智久
 同(公認会計士) 草薙信久

千葉 支部 小澤義昭
 同 池田 博
 東葛飾 支部 北野浩一郎
 同 井戸知一
 印旛 支部 須藤達也
 同 村島義則
 香取 支部 坂本幸彦
 同 熊澤信宏
 海匝 支部 菅澤信博
 同 秋山忠史
 山武 支部 秋葉誠二
 同 植松一夫
 長生 支部 東條秀明
 同 長谷川秀一
 夷隅 支部 米倉正男
 同 莊司正博
 安房 支部 川上良之
 同 佐藤則泰
 君津 支部 安田 勇
 同 地曳貞夫

相談役 田中榮一
 同 松島 洋
 同 金坂光一
 同 川崎吉太郎
 同 三代川利男
 同 金子 裕
 同 石川 實
 同 秋元浩司
 同 藤江進一
 同 目良和夫
 同 吉野正壽
 同 内藤 肇
 同 石井友治
 同 石渡幸雄
 同 五木田祥一
 同 伊澤寿男
 副会長
 会長
 監 事

千葉 支部
 千葉市消防団長 原 久男
 習志野市消防団長 池田 博
 市原市消防団長 大野藤夫
 八千代市消防団長 高橋章夫
 東葛飾支部
 市川市消防団長 高橋廣孝
 船橋市消防団長 井戸知一
 松戸市消防団長 小嶋 功
 野田市消防団長 染谷賢一
 柏市消防団長 小山山博史
 流山市消防団長 小倉邦裕
 我孫子市消防団長 吉田喜一郎
 鎌ヶ谷市消防団長 川上英明
 浦安市消防団長 大川三敏
 印旛支部
 成田市消防団長 村島義則
 佐倉市消防団長 板倉和雄
 四街道市消防団長 塚本正英
 八街市消防団長 齊藤弘一
 印西市消防団長 川上賢二
 白井市消防団長 中村教雄
 富里市消防団長 篠塚清春
 酒々井町消防団長 関根勇夫
 栄町消防団長 大野徹夫



平成30年度 消防功労者等の決定

消防業務または消防行政などに功労のあったもの及び消防の永年勤続者に対して、(公財)日本消防協会と(公財)千葉県消防協会から表彰する消防功労者等がこのたび決定しました。平成30年度は、1,585人が受章されます。

- (1) (公財)日本消防協会会長表彰 平成31年3月5日(火)
日本消防会館 ニッショーホール
- (2) (公財)千葉県消防協会会長表彰 平成31年3月20日(水)
青葉の森公園芸術文化ホール

支部別消防功労者等一覧

平成30年12月25日現在

	千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	協会	合計
日本消防協会会長	41	76	53	12	12	18	10	8	11	19		260
特別功労章												0
特別表彰まとい		1										1
表彰旗	1											1
竿頭綬												0
功績章(一般)	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3		33
功績章(女性)	1											1
精績章(一般)	10	16	13	6	6	8	4	5	5	7		80
精績章(女性)	1	1										2
勤続章	24	51	34	4	4	7	4	1	4	9		142
優良女性消防隊												
優良女性消防隊員												
永年勤続職員表彰												
千葉県消防協会会長	189	368	213	56	76	125	54	56	74	114		1325
出初式	65	100	85	36	35	48	25	29	35	42		500
功労章	16	25	21	9	9	12	6	7	9	10		124
精勤章	49	75	64	27	26	36	19	22	26	32		376
千葉県消防大会	124	268	128	20	41	77	29	27	39	72		825
特別功労章	1	2	0	0	0	1	1	1	1	1		8
永年勤続功労章	67	135	69	10	21	44	14	13	19	40		432
功績章	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3		33
表彰	個人	6										6
	団体	1						1				2
感謝状	ア	52	108	53	8	18	29	12	10	17	28	335
	イ		9									9
合計	230	444	266	68	88	143	64	64	85	133		1585

平成30年度女性消防団員活性化シンポジウムの開催

平成30年11月28日（水）にホテルポートプラザちばを会場として、公益財団法人千葉県消防協会が主催し、千葉県の後援により、平成30年度女性消防団員活性化シンポジウムが開催されました。県内から、約150名の女性消防団員等が参集し、盛会であった。

消防協会を代表し、石橋会長から開会の挨拶があり、後援をいただいた千葉県消防課林副課長から挨拶があった。

続いて、危機管理教育研究所代表 危機管理アドバイザー 国崎信江氏から、「女性の視点での防災の取り組みと災害の女性消防団に期待すること」と題して基調講演が行われました。

国崎講師は、地震調査研究推進本部政策委員会、防災科学技術委員会など国や地方公共団体の防災関連の委員を務められており、現在は講演活動を中心にテレビや新聞などのメディアに情報提供を行っているほか、被災地での支援活動を発生直後から継続して行っておられ、生活者の視点から防災・防犯・事故発生対策を提唱しておられます。講演では、西日本豪雨における消防団の活動事例、風水害時や震災時における消防団の課題、女性・高齢者でも救助できる、体力を消耗しない搬送方法の普及など分かりやすく説明を頂き大変好評であった。

引き続き、船橋市消防団（高村分団長、金子部長）、四街道市消防団（豊田、原名、根本、高司団員）、成田市消防団（岩本部長、菅沼班長、高塚、近藤団員）及び館山市消防団（川名部長、三平団員）からそれぞれ活動事例が報告され、あるいは今後の取組に対する意気込みが説明された。既に地域の小中学校などに出かけて防災思想の普及啓発事業を展開するなど豊富な活動実績を有している消防団もあり、これから積極的に活動に取り組むという決意表明をした消防団もあり、今後が楽しみな事例報告であった。

最後に、情報交流会が行われ、県内の女性消防団員が一堂に会した機会を捉え、あちこちで所属の団を超えて話が弾み、名刺交換や写真撮影などの交流が図られた。



石橋会長挨拶



林消防課副課長挨拶



国崎信江講師



船橋市消防団



四街道市消防団



成田市消防団



館山市消防団

平成30年度 千葉県石油コンビナート等防災訓練の実施

第39回九都県市合同防災訓練実施大綱」及び「千葉県石油コンビナート等防災計画」に基づき、相模トラフ及び千葉県東方沖の地震を想定して、特定事業所、共同防災組織が主体となり発災対応型訓練を実施することにより、災害応急対策の整備・運用の充実を図るとともに、特定事業所、共同防災組織及び防災関係機関相互の応援体制の確立に資するため、平成30年11月16日（金）午後1時から3時まで新日鐵住金株式会社君津製鐵所及び周辺海域において石油コンビナート等防災訓練が実施されました。

訓練は千葉県石油コンビナート等防災本部が主唱し、千葉県、木更津市、君津市、京葉臨海南部地区石油コンビナート等特別防災区域協議会が主催したもので、千葉県や千葉海上保安部など12機関から約100名が参加しました。

陸上訓練は相模トラフにおける地震の発生により、君津製鐵所内の危険物倉庫から火災が発生、化学物質漏洩事故、クレーン事故を想定し、また、海上訓練は千葉県東方沖を震源とする余震が発生、君津製鐵所東岸壁に係留中の貨物船の接触事故により重油が大量流出したと想定し、次の訓練を実施しました。

1 陸上訓練

- ①地震初動訓練
- ②通報訓練
- ③現地指揮本部設置訓練
- ④消火訓練
- ⑤広報訓練
- ⑥応援要請訓練（県警）
- ⑦救助訓練
- ⑧応援要請訓練（消防）
- ⑨消火訓練

2 海上訓練

- ①事業所初動対応
- ②関係機関調整本部設置・運営
- ③事故発生周知活動及び浮流油調査
- ④重油の拡散防止措置
- ⑤油吸着剤による回収
- ⑥海上浮流油の分散



平成30年度関東地区女性(婦人)防火クラブ 連絡協議会幹部地域研修会の開催について

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会 会長 竹内 久子

秋も深まった10月23日・24日の両日、千葉市中央区のホテルポートプラザちばにおいて平成30年度関東地区女性防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会が開催されました。

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会の竹内久子会長及び一般財団法人日本防火・防災協会からは西藤公司理事長の開会あいさつに続き、来賓の千葉県防災危機管理部次長吉田篤史様及び公益財団法人千葉県消防協会会長石橋 毅様からご挨拶を頂きました。

研修会では1番目に、「女性(婦人)防火クラブと地域防災力の充実強化」と題して総務省消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室の



対策官(兼)消防団専門官手塚康長様から最近の自然災害等の発生状況と課題や自助・共助の重要性、地域防災力の充実強化における女性(婦人)防火クラブの活動、地域防災力の充実強化に関する消防庁の取り組みなどについて講話をお願いしました。

2番目には、全国を東奔西走しながら国内のみならず外国においても『語り』の意義や魅力を伝えるためにご活躍されている国際的カタリストである語り部の平野啓子さんから特別公演をお願いしました。

(1) 「稲むらの火」の語り

地震の揺れを感じた後、海水が沖合へ退いていくのを見て津波の襲来に気付き、村人達に危険を知らせるため、稲の束(稲むら)に火をつけて津波から村人を守った「稲むらの火」は、身振り、手振りを交えた素晴らしい平野啓子さんの語りで出席者の皆さんから感動の拍手が響き渡りました。

(2) 『ちっちなかみさん』(平岩弓枝作)～

自分達を育てるため結婚をあきらめる兄の為に、自分たちが家を出て行くから兄を結婚させてくれと願う妹【ちっちなかみさん】は、聴く人を感動の渦に。家族の絆に感銘し、目頭を熱くした参加者は少なくなかったようです

3番目には各都県会長から活動状況を発表して頂きました。

会議終了後に開催された交流会は大変盛り上がりしました。

2日目は、東京ディズニーリゾート防災監視センターを視察し、本研修会は盛会裏に終了することができました。



わが町の消防団 ① 富津市消防団

富津市は、房総半島の中西部東京湾側に位置し、市の北部は京葉工業地帯の最南部の工業地帯が形成されるとともに、自然にも恵まれ『関東の天の橋立』といわれる富津岬から約40キロメートルに及ぶ海岸線、鹿野山や鋸山など海や山に囲まれ気候も温暖な地域です。

東京湾アクアラインや館山自動車道を利用した行楽地としてマザー牧場や潮干狩り、海水浴など首都圏の皆さんに親しまれています。

富津市消防団の組織は、平成30年4月1日現在、石井輝之消防団長以下消防団本部を中心に12個分団16個部、団員定数552名、実員440名の編制です。装備は、消防ポンプ自動車11台、小型動力ポンプ積載車14台、小型動力ポンプ9台を配備し、日々災害に備えています。



主な事業は、消防出初式をはじめ、指揮要領を習得する幹部講習、消防団員としての基礎を学ぶ新入団員講習、市の消防操法大会では君津支部消防操法大会出場分団を決定します。

火災を想定した訓練では、分団を4グループに分け、火災予防運動に併せ地域の特性に応じた消防演習を消防団員が企画し毎年開催しています。



また、災害対応力を強化するため、平成28年度から自治会や自主防災会が実施する地区防災訓練で、救急法や消火器取扱い訓練の指導を担当するなど、地域住民から厚い信頼を得ています。

近年、消防団員の減少が全国的な問題となっていますが、富津市消防団においても人口減少とともに入団者が減少し、人員確保が喫緊の課題となっています。

このことから、消防団員の処遇改善や、機能別団員の導入、地域の特性にあった資器材の導入などを検討するため、平成30年3月に消防団幹部で組織する組織等検討委員会、車両等検討委員会、活動等検討委員会の3つの委員会を立ち上げ、平成31年度からOB団員を活用した機能別団員制度を導入することを決定しました。

今後も、次代を担う基本団員の確保を始め、有事の際に力強い味方となる機能別団員とともに地域住民、自主防災組織との連携強化により、災害に強いまちを推進していきます。



わが町の消防団 ② 香取広域市町村圏事務組合 東庄町消防団

東庄町は、東京都から約80km圏、成田市から約30km圏、千葉県北東部に位置し、東は銚子市、西は香取市、南は旭市、北は一級河川である利根川を隔て茨城県神栖市に接しています。

東庄町の誕生は昭和30年7月20日に笹川町、神代村、東城村、橘村の1町3村が合併し「東庄町」となりました。町名は、昔この地域が東氏(とうし)の荘園であったことが由来です。

町域は総面積46.25km²、東西約9km、南北約10.5kmの台形状の地形で、中央は北総台地の一角をなしており、北部・南部に傾斜し低地は水田に利用され、台地上部の平地は畑作に利用されています。

東庄町の平成30年4月1日現在の人口は14,206人であり、この地域を管轄する東庄町消防団は、岩瀬隆団長以下235名、1本部4分団22部で組織編成され、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車21台を保有しています。また、平成26年3月、総務省消防庁から小型動力ポンプ付軽積載車及び拠点資器材等を無償貸与させていただきました。

消防団の主な年間行事としては、春から夏にかけ、消防の基本である規律訓練、各資器材取扱訓練、機関員を対象とした機関員講習会及び東庄町関係機関との合同防災演習を実施し、消防団員としての心構え、安全管理の重要性、各関係機関の連携、自衛意識の徹底、防災行動力の向上と防災意識の高揚を図っています。また、秋から冬にかけては、消防団幹部役員が消防関係機関の訓練や施設等を視察、中継送水訓練及び車両・ポンプ点検、消防団役員、新入団員を対象とした普通救命講習会を実施し、知識・技術の向上を図りながら火災期に備え万全を期しています。そして、新年を迎え一大イベントである消防出初式を挙行し、団員一人一人が結束を誓い士気高揚を図っています。その他、東庄町で開催される各イベントに参加し、消防団PR活動や、年間を通して夜間巡邏警戒を実施、地元地域に密着し町民へ防災意識の普及啓発に努めています。

近年の災害は大規模化・広域化の様相を呈しており、地震や集中豪雨をはじめとする自然災害が全国各地で多発し、甚大な被害が生じています。

地域と密接する消防団員一人一人が「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛精神を持ち、かつ、東庄町のキャッチフレーズである「躍動・連携・地域力 とうのしょう〜共に築き合う 地域の力がみなぎるまち〜」の実現に向け、これからも、わが町の安心・安全・安寧を担ってまいります。



東 西 南 北

「解体予定建物を活用した消防活動訓練」を実施 千葉県市川市消防局

市川市消防局では隣接市の松戸市消防局及び浦安市消防本部と合同で解体予定の市保有施設（塩浜学園）において都市型搜索救助技術（USAR）を主とした震災対応訓練及び火災対応訓練を実施いたしました。

実際の建物を使った訓練は非常に貴重な経験となり、今後の隣接市との応援体制の確立並びに、知識及び救助技術の向上を図ることができました。



火災原因調査研修を実施 松戸市消防局第二方面本部

松戸市消防局第二方面本部では、平成30年10月12日（金）に佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部の協力を得て、火災原因調査研修（調査分析室見学及び講義）を実施しました。

第二方面本部構成所属から20名の若い職員が参加し、科学的分析手法や調査の捉え方について興味深く講義を受けました。

今回の研修会で高めた意識を、今後の火災原因調査の強化に活かしていきます。



ハラスメント防止研修を実施 千葉市消防局

千葉市消防局では、10月19日（金）22日（月）に管理職員向け、11月28日（水）29日（木）には管理職員以外の職員向けにハラスメント防止研修を実施しました。

講師には、総務省消防庁において開催されたハラスメント防止に関するWGの委員でもあった、株式会社ハートセラピー 代表取締役の柳原 里枝子様をお招きし、管理職として部下にハラスメントをさせない取組や、実際に加害者・被害者とならないための予防策のほか、問題解決の手法として注目される「解決志向アプローチ」という指導方法についても学ぶことができました。また、具体事例を用いたグループワークも実施し、計4日間を通じて大変有意義な研修となりました。

今後も、本研修で得た知識を活用し風通しの良い職場づくりに向け、職員一丸となって取り組んでまいります。



東西南北 『将来の機関員を目指せ！』 安全運転講習会を実施！

柏市消防局

柏市消防局では、平成30年10月15日(月)、22日(月)、29日(月)の3日間、市内の自動車教習所の敷地を借用し、若年層職員に対する安全運転講習会を実施しました。

本講習会は、職員の大量退職に伴い機関員の世代交代が進み、機関員養成が急務となっていることから開催した講習会であります。

柏市消防局では、今後も安全運転講習会を開催し、迅速、安全に現場到着できるように運転技術の向上を目指し、機関員の育成に取り組んでいきます。参加人員71人。



東西南北 火災予防広報に対し感謝状

松戸市馬橋消防署

松戸市馬橋消防署は、秋の火災予防運動に合わせ、火災予防思想の普及啓発に協力していただいているSKビルディング株式会社、パラッツォ東京プラザグループの2事業所に対し、感謝状の贈呈式を行った。

両事業所は、例年火災予防運動期間中に横断幕の掲出及び電光掲示板を使用し、市民に対し、防火意識の高揚を図り、消防行政に対し貢献しているところから感謝の意を表したものです。



東西南北 「ハラスメントは許さない！」

佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合は、11月5日と6日、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事サニーカミヤ氏を講師に迎え、「消防職員の不祥事対策」について幹部職員と近隣消防本部職員の合計181名に研修を実施した。

研修は、消防職員特有のストレスの洗い出しから始まり、ストレスや欲求などから発展する様々な不祥事への認識、パワハラと指導の違い等の職員個々が抱えている課題や組織全体として取り組むべき課題について学んだ。幹部職員一人ひとりがパワハラ等の不祥事撲滅に対する自覚と対策を強く認識し、消防組合におけるハラスメント撲滅を目指す。



東 西 南 北 **合同震災活動訓練を実施**
松戸市六実消防署

松戸市六実消防署は、11月4、5日に五香消防署特別救助隊との合同震災活動訓練を実施しました。

この訓練は、職員自らが勤務外において地震災害に遭遇し建物等の倒壊によって脱出不能となった要救助者の安全かつ迅速な救出方法を習得することを目的とし、限られた資機材、人員、条件の中で実施しました。

訓練の実施に先立ち、特別救助隊長から講義を受けたことによって、救出するための原理を理解したことで効果的に訓練に望むことができました。

今回習得した重量物のムービング、リフティング技術の練度を高め、消防団や地域防災リーダー等の地域防災に不可欠な方々に指導することによって、防災力の強化に繋げていきたいと考えています。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成31年1月

- 1月 4日 仕事始め
- 5日 } 平成31年出初式
- 2月10日 }
- 25日 婦人防火研修会



平成30年度 全国統一防火標語
「忘れてない? サイフにスマホに 火の確認」

<表紙の説明>

アイ・リンクタウン展望施設からの景色（市川市）東葛飾支部

市川駅南口を出てすぐ、ザ タワーズ ウエスト45階にある当展望施設は、地上150メートルから市川市内一円を見渡せる絶好のビューポイントです。

平成21年10月のオープンからの来場者も200万人を超え、晴れた日には、雄大に流れる江戸川をはじめ、富士山や東京都心の高層ビル群などの眺望を楽しめるほか、夜には素晴らしい夜景をお楽しみいただけます。

また、併設のアイ・リンク情報コーナーにはカフェスペースもあり、ドリンクを飲みながら眺望を楽しむことができるほか、市川市の観光・物産の紹介や販売も行っています。

